立野真琴イラスト集

PRINCE SAPPHIRE

立野真琴 Makoto Tateno プリンス・サファイア

9784757741171

ISBN978-4-7577-4117-1
C0079 ¥2900E

定価 本体2900円+税
エンターブレイン

1920079029001

立野真琴イラスト集
PRINCE
プリンス・サファイア
SAPPHIRE
立野真琴
Makoto Tatsuno

CONTENTS

PRINCE SAPPHIRE'S GALLERY ... 003
MAKOTO TATENO LONG AWAITED DEBUT ~ PRINCE SAPPHIRE ~ ... 102
MAKOTO TATENO ~ MANGA'S MANUSCRIPT PICTURES ... 106
"YELLOW" NEWLY WRITTEN COLORFUL COMICS "WEEP IN THE RAIN" ... 108

PRINCE SAPPHIRE

MAGAZINE BE×BOY　平成 4年3月号　扉2色カラー　扉　ビブロス
「YELLOW」
ブルーを使って涼しげにしてます
コを描う仕事が個人的には大好きなので描ていて楽しかったです

MAGAZINE BE×BOY　平成14年5月号　第3回カラー賞　ヒゴロメ
『YELLOW』
恵　介「通りもんなが　　すき
感謝の印し　　よ　ま！

MAGAZINE BEXBOY　平成15年8月号　扉7話カラ　扉　ビブロス
「YELLOW」
扉はばなれにな　でいて合いから気持ちが
表現できているといいと思います
見開きなので扉の注釈が難しいっかですね

MAGAZINE BE×BOY　平成16年7月号　扉1頁カラー原　ビブロス
「YELLOW」
最終頁は扉で描きつのでそのイメ　ジでヤ
ビールは私の好きな銘柄を使っています。
こういう絵を描くと最終回なんだなと思いますね

MAGAZINE BOY　平成16年3月号　表紙　ピブロス
(YELLOW)
最後の表紙で　いちゃっ☆した自己で出を対照的に
トラノスケで描きました！

立野真琴個人ファンクラブ「EGG」会誌16号　表紙
「YELLOW」
PCの合成で　の　入れ表紙は　おしまな　ので珍しいですね
表紙 2回りの表紙は違うものを使いました

LOVELY COMICS「YELLOW 完全版 上」
（平成19年2月）カバー　エッダ　プレイ
「YELLOW」
マダイナーさんに使って頂けるので
とても（表紙なり）バーを作っていただきました
下巻～3回目な感じになっています

ふゅLOVEY COMICS (YELLOW 創金版 下) (平成19年8月) カ イ ノ エンタープレイン
(YELLOW)
先勝法人って　かかった費用の金額の当が特記と出てい ろかっ
見ていただけると嬉しいです。

書店用販促物（平成19年2月）描き下ろしPOP　エンタ　ブレイン
「YELLOW」
書店 POP 用のイラストなので思ったより少ない 上記　です
イラストだけの状態は掲出画ですね

BE×BOY COMICS「YELLOW①」（平成14年11月）カノ ー ビブロス
「YELLOW」
雲は天にのものオ ー ナーでっ！ #1「最初の学校だったんです
瑞穂さんが ちらがぃ と言ってくれるってカバーに掲載しました

BE×BOY COMICS (YELLOW)(1) (平成14年11月) 口絵　ビブロス
(YELLOW)
表紙用で描いていただいたコンセプトのとおりが
よくわかるように描いていただき

BE×BOY COMICS「YELLOW」（平成15年7月）カバー　ビブロス
「YELLOW」
八で眼を覆うという…とはなかったんですが
結局レギュイイので描いてみました！
クリスタルのような素材をふんだ
キラキラした感じに しています

《SEXBOY COMICS [YELLOW]》（平成18年7月）口絵／ビブロス
[YELLOW]
口絵だと思って好きなことをしています
けっきょく本編では一んなことはできませんでした（泣）

SEXSHY COMICS「YELLOW 3」（平成18年4月）カバー　ビブロス
「YELLOW」
外出の時はっぱい書類欲を消したくて描きました。
タバコを吸ける小悪魔が好きで
…とんごとし始まるんですが
マンネリ化するので改造してます。

0 2 8

トラマC冊『YELLOW』（平成16年5月）ノベルティ　ピプロス
『YELLOW』
入れ子型ケースです。くりぬき黒枠なし　絵柄オリジナル
裏面「でんぢ同盟」とは思いますが　もし見つけた場合　でいただきたいですね

MAMA E Hc　B7　平成13年8月号　季告カット　ピプロ
『YEL OW
「オトで届めて聞いた　人の絵で
…これはコピックで塗

MAGAZINE BE×BOY 平成12年12月号 表1(1回から) 扉 ノブレ掲載
THERE HEEL 表紙と扉絵！
本 おりとぶ ノブコ さんこイメージ通りです
制 むらおか さん すと
し しゃ ひがら制 よりね

THERO（ヒロ、英雄と訳す）
ちょっと語彙多めですね
人間関係がドロドロしてきた頃なので　愛憎まったく感が引き継いでいるといいです。

MAGAZINE BEAUBOY　平成16年10月号　予言カット　ピアニス
「HERO-HEEL-英雄と悪魔」
ヒ　ロ　もめっぱなしかくて　ｒａ　かすく
…人（ファイティングポ　ズを取らせていただきます。

MAGAZINE BE×BOY　平成17年12月号　雑誌扉カラー扉　ビブロス

「HERO　HERO-英雄と悪漢-」

_先輩後輩になっている二人が萌えですね♪

光の素材がいい感じに決まったので気に入っています。

SUPER BE×BOY COMICS『HERO HEEL-英雄と悪漢-③』
(平成18年7月) カバー ノブレ出版
『HERO HEEL-英雄と悪漢-』
変わった素材を描きこんで
アメコミっぽい仕上がりにしたかったんだと思います

SUPER BE×BOY COMICS『HERO HEEL-英雄と悪漢-③』
(平成19年3月) カバー ノブレ出版
『HERO HEEL-英雄と悪漢-』
[illegible]一番を決めシーンを描きたくて(笑) 内容的にもそんな時でした。
[illegible]とつてアメコミっぽい仕上がりのものが多いですね。

作家　[illegible]年3月号　[illegible]日本武芸
[Original Memo]
懐しい マゼンタ髪のセット一寸ね
しょうもあまりない　神がよさそうな四人の絵です

平成17年8月号　第1回カラー扉　日本文芸社

「Sister Moon」

の色と黒髪の割合なので割とっけい　彼にしたくて色々物をこんでいるんですが

保存する時にすごく狭い容量に作りました！

花恋　平成15年7月号　第5話／コ　謝　白泉文芸社
[Silent Moon]
単品の時とはキャラクター　や内の配置を変えたりニューアル版です。

花恋　平成18年7月号　掲載　日本文芸社
[Steal Moon]

KAREN CDM CS「Blood Moon」（平成18年8月）カバー　日本文芸社
Blood Moon

花音 平成14年1月号 第3話カラー扉／日本文芸社
[Silent Moon]
[Silent Moon]はきつい 色等の指が多かったので 'たまには青+緑をと思って'選択しました
見開きはツーショットにすることが多いんですが これは珍しくバストショットに挑戦しました。

立野真琴個人ファンクラブ「EGG」 ポストカード
「VELVET」
「しのぎ ズなので初めて見る方も多いと思います

立野真琴個人ファンクラブ「EGG」 使節
「青い 羊の夢」
…ちなみに最新のFCグッズのイラストになります。

花恋　平成15年5月号　巻頭カラー　原／倉本文芸社
「香い 琴の夢」
チェーンが上手く香りでイ香りした個人がありまし。
個個で見ている動画をめて　光回きで両側に関回する道に歩出てよオラ　と　ん

花恋　平成10年11月号　掲載　白泉社
「雪い界の雪り」
ト　十和　男の子がファーの服を着ているのが大好きなんですよ
農園にファ　とい　とで民なうではの前にありました

表　表紙イケイ　ドラマCD『エグゼクティブ　ボーイ』　平成13年9月
ジャケット　白泉社　ラヴァイス
『エグゼクティブ　ボーイ』
とても賑やかし部下たちの活躍して　ます

Cobalt　平成13年4月号　第1話カラー扉　集英社
「ガーベラ」
タイトルの通りガーベラをバックに。
可愛らしい 感じに しました。

コバルト文庫「ガーベラ」（平成14年10月）カバー／集英社
「ガーベラ」
小説のふりをして実際に書れています!!
単行本なので是非つけて読んで欲しい です

この表紙用のキャラクターで　ちょっと背景っぽく描いてみました。

MAGAZINE BE×BOY　平成12年7月号　扉2頁カラー　扉ノビプロス

「ネライ撃ち 6」

こんなアクセサリーを見て イカロス柄のモチーフを描きました

羽根が出っぱかったのでアクセントをつけたかったんですよね。

[ピクシブ 8000000 [ゆうき蓮いち] (平成19年9月) C82 ピクロス
「キライ思いち」
この部分こんなの絶対良くないんだとおもいますが
本当はとても仲良いですね…

MAGAZINE BE×BOY　平成13年4月号　第3話カラ　扉　ビブロス
「キライ嫌い も」
扉がったので
扉のビメタっぽい イメージで仕上げました。

BE×BOY COMICS「キライ嫌い も」（平成13年9月）カバー／ビブロス
「キライ嫌い も」
青っぽい 扉がったので加賀美さんみたい って言われた記憶があります。
もうかし 盛し 色にすればよかったかも。

Bunch 平成10年7月号 表紙 新書館

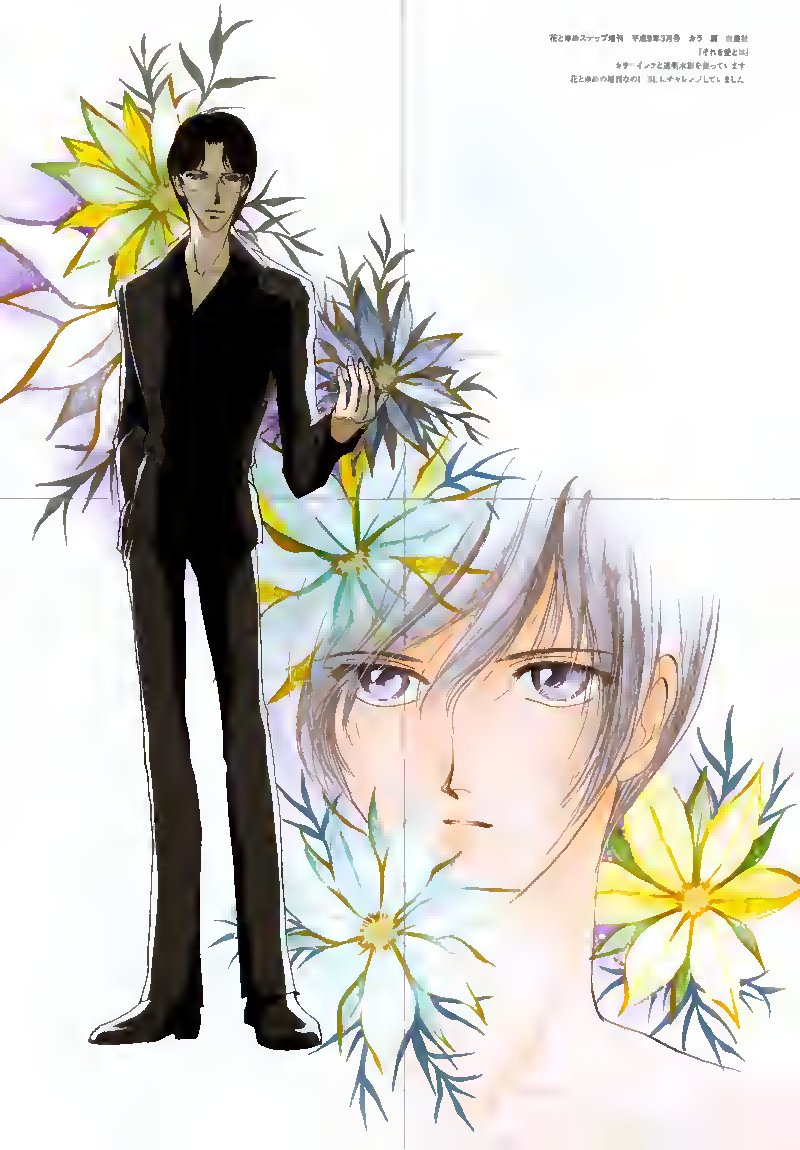
【マティ —攻略法】

フォトショップでペイントーっぽく描れるよ

簡単しているはずです☆

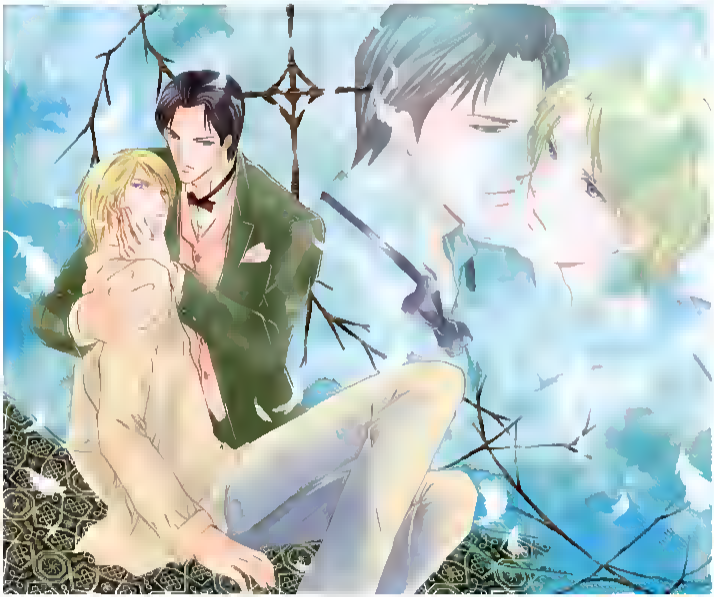
Dear+　平成15年7月号　第1話カラ　扉　新装版
「マティ　…攻略法」
オリーブっぽいイメージで描いています
お酒が好きな作中でこのシリーズは描いていて楽しかったです

Dear+　平成19年1月号　カラ　扉　表紙裏
「ライト　カー整備論」
シルアダルトヴィレッジですね
俺から私を盗れ"危険な指とまじわ



花とゆめスペシャル増刊　平成8年3月号　あう　扉　白泉社
『それを愛と呼ぶ』
カラーインクと透明水彩を使っています
花とゆめの増刊号の「扉」にチャレンジしてました

【b-boy LUV2巻】【甲虫1部2巻】裏表　ビブリオス
『覚醒の剣く』
貴族特徴という二とで
女装も厚手ホにブーシャスに!!全した



『Be Boy LUV2』（平成18年3月）カラー扉　ヒーロー

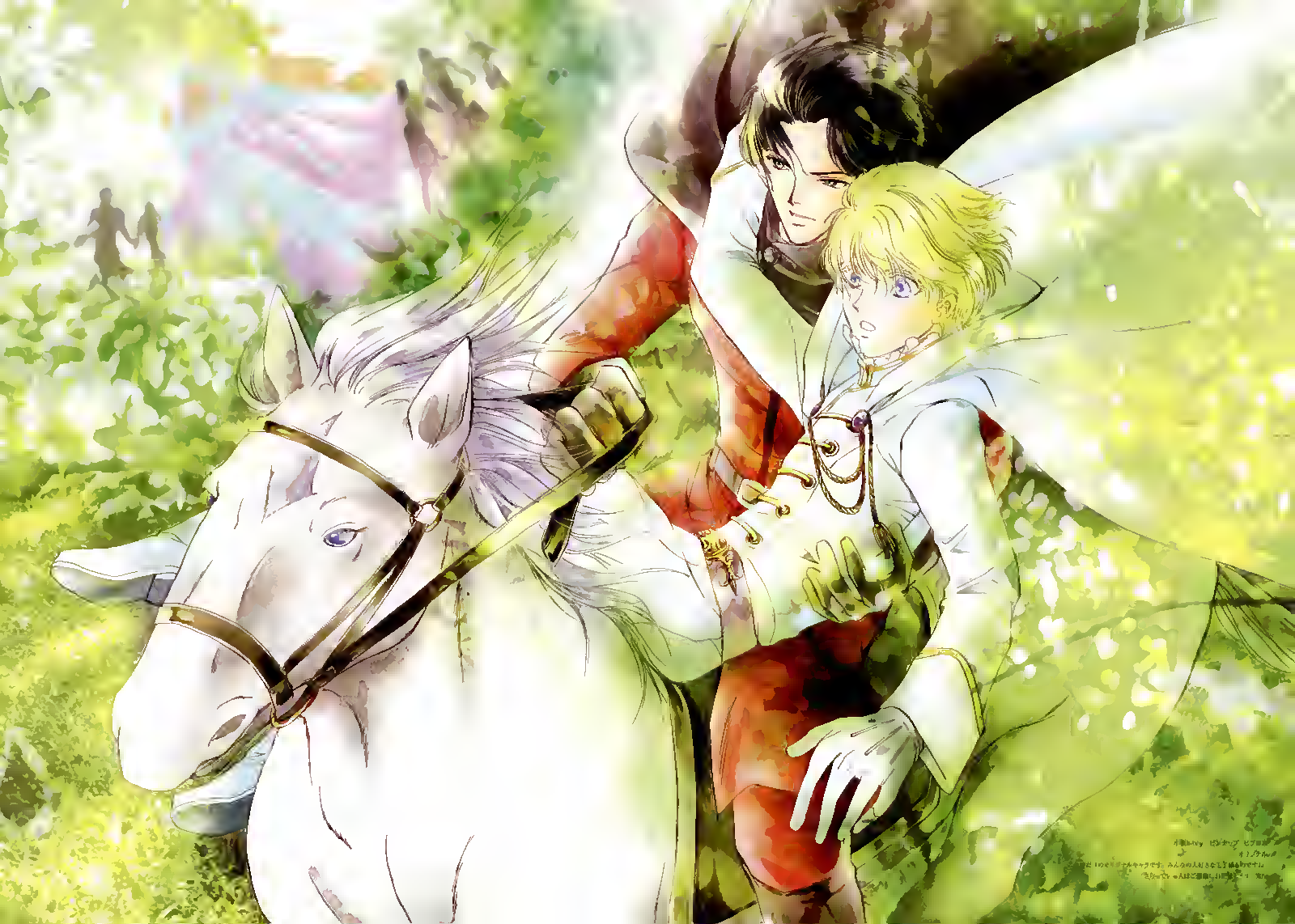
『世界の終く』

イギリス貴族という設定で

少し危険な香りさえて背徳的な感じが出せればいいなと思って描きました。

著　藤生尚平　コバルト文庫「疾走する6月の陽炎」
「平成11年1月」カバー　集英社
「疾走する6月の陽炎」
おんぶの子猫さんぜっていたので開いて描きました。
ラブ度の高い話になりました。

アクアコミックス『花宿風』（平成15年7月）カバーイラスト原画
「花宿風」
フォトショップでペインターっぽく塗っています。
使ったお気に入りの筆がほぼ全部です。



巻：藤堂真矢　コバルト文庫『ルナティック　ラヴ』（平成14年8月）カバー／集英社
『ルナティック　ラヴ』
全てペインターを使って描いています
背景使わない　オイルチョークを使ってバックと肌はボカシが強いています。

Dr. Stone vol.16(茶請特集)（平成17年8月）カラー扉／ムービック
「願い事」
私の思い描で　見開きなのに 顔が真ん中にもでいますね。
他国は可愛くなって気に入っでいます。

上級BEST　平成15年Autumn号　ピンナップ／ビブロス
オリノケル
オフィス物で内緒恋というリクエストがったのですが
今見るとあまりサラリーマンっぽくないですね。

小説Rooty 平成18年春号 ポスター 4種書籍
オリジナル
つ例のポスターでめくるとニ組のカップルが出てくるように構図を工夫しました
いただいた感想では関のカップルが私しなると言われました。どっちが受？攻めてみた（笑）

MAGAZINE BE×BOY　平成19年5月号　第1部カラー扉／ノブレ出展

「ミュ　ズの学園で逢※う」

実は……まだ誰だけしか出てきてない　キャラクタ　が居れてい　るんですよ

最初のうちから出てくる予定で描いてしまってい　たんですよね。

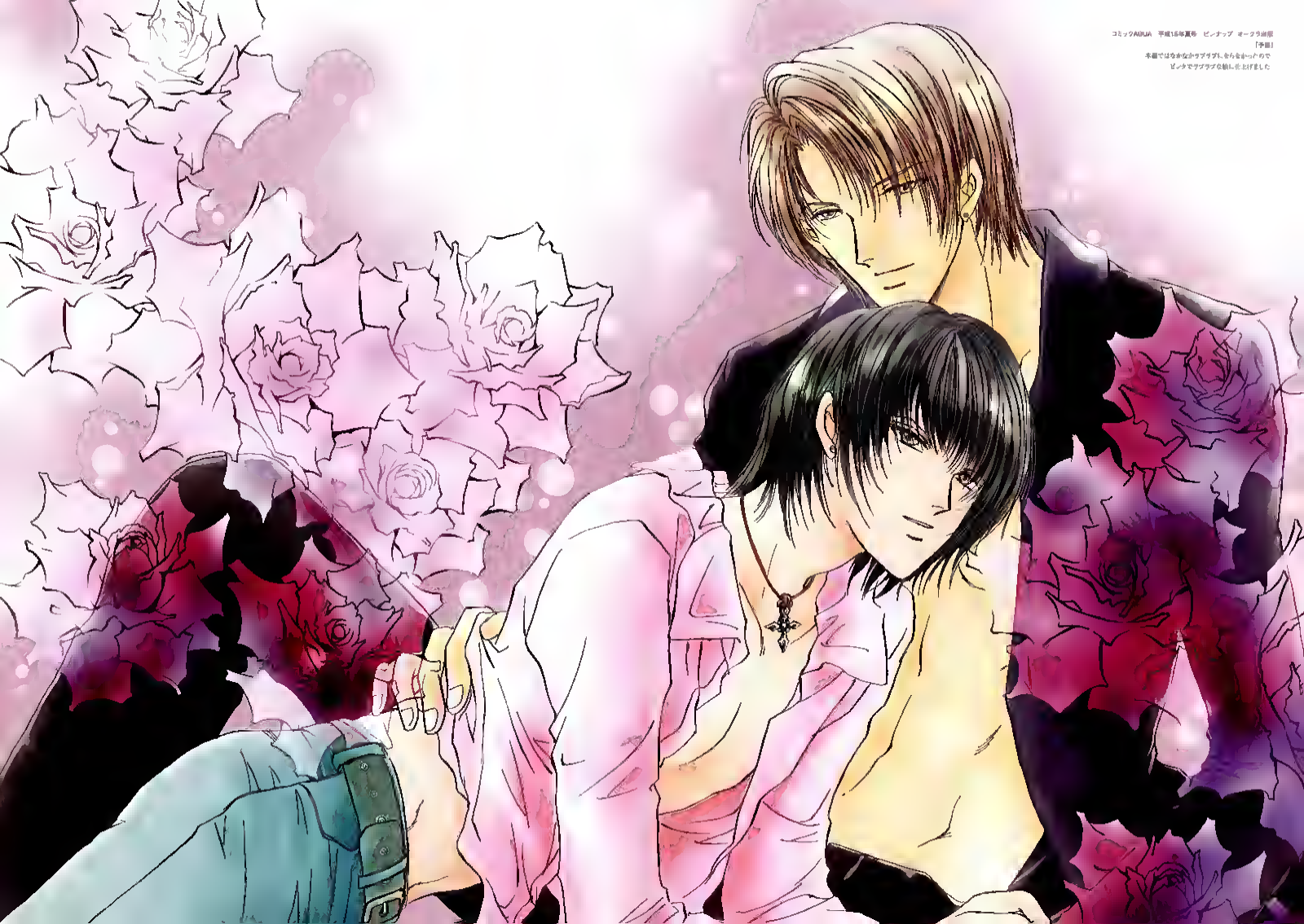
ぜひ探してみてください

MAGAZINE INFINITY　平成18年8月号　表2裏カラー扉／リブレ出版
『ミュ　ズの学園で遊ぼう』
この国の王族の先輩カップルなんですが
くらった感じでいい雰囲気がにじみでと思います。

BE×BOY COMICS『ミューズの学園で踊ろう①』（平成20年1月）
カバー／リブレ出版
『ミュ　ズの学園で踊ろう』
アーメっぽいイメージで描きました　後藤先生が好評でしたね
これは踊ってる？って思っていただけるといいです

コミックAQUA　平成14年冬号　扉1頁カラー扉／オークラ出版
「羊飼」
アナログがししては珍しく色を押えぎみにしています。
ビジュアル系にしたくて描いた絵です。

ドラマCD『予感』（平成16年11月）ジャケット　オークラ出版
【予感】
とても甘く夢やかにしてみました
『ドラマCD』という うことで口ボル予を置えています。


コミックAURA　平成15年夏号　ピンナップ　オータラ描原
「予祖」
本編ではなかなかラブラブし合えないので
ピンナップでラブラブな絵に仕上げました

[illegible]AQUA　平成20年2月号
[illegible]　原　オ　クラ川版
「平成EX Eternal」
[illegible]ィラクター[illegible]　色い　フィルターをかけ
[illegible]をんれてみたら　欲　感が出
[illegible]

コミックAQUA 平成18年7月号特 カラー頁／オール書下ろし
【予感EX】1P目
思い出話を数首に入れて頂きました。
このシリーズ初めから思い出あったので嬉しかったです。
絵すべてで、8冊何はやっぱり見かです

PRINCE SAPPHIRE

PRINCE SAPPHIRE'S SPECIAL CONTENTS

立野真琴ロングインタビュー～プリンス・サファイア編～

立野真琴～漫画原稿が出来るまで～

「YELLOW」
"WEEP IN THE RAIN."

立野真琴ロング・インタビュー

プリンス・サファイア編

創作過程のあれこれ

――先生はどのように作品のストーリーを考えるんですか？

私はまず編集さんと打ち合わせをするんですけれど、最初に漠然とどんなネタがいいかなって相談して、それから考え始めるんですよ。たまに自分からこういうのを描いてみたいっていう時もあるんですが、ほとんどは編集さんとお話しさせていただくときに、最初は漠然としたラインで例えばアクションものがいいとか、ホストものがいいとかネタだけ決めて、じゃあ何を描こうかなと作っていくので、お題をもらえられてからっていう感じですね。特に少女マンガの場合は、ＢＬよりも複雑な設定がよかったりするんですよ（笑）。もちろんラブストーリーがあって、そのなかにちょっと特殊な設定があるというのが「花ゆめ流」だったので、そういうネタを担当さんと出してそこから描き始めるという感じです。

――構想を練っている時というのはご自宅で考えられるんですか？

最終的には自宅になるんですけれど、ある程度まとまるまでは喫茶店に行ったり、本屋さんに行ったりと外にいる時の方が何か浮かんでくるものがあります。でも、着想をするのは自宅で机に向かってですね。やはりカウントダウンで追い詰められてくるので（笑）。それまではウロウロ動き回っていることが多いです。それでももうやらないといけないって机に向かう頃には、ある程度こういうものにしようという、材料が集まって決まってきているんです。ただ、ミステリーや謎解きのあるものは、ネタ探しですっと本を読んでいます。それ以外はやはり外で動いていたり、お風呂に入ってボーっとしている時にネタが固まってくることが多いです。あとお酒を飲んでいる席でネタが思い浮かぶことも多いです！（笑）。会話の中でヒントを見つけたり、そこで気持ちが切り替わって新しいものが浮かんできやすいのかもしれません。

少女漫画とＢＬ作品

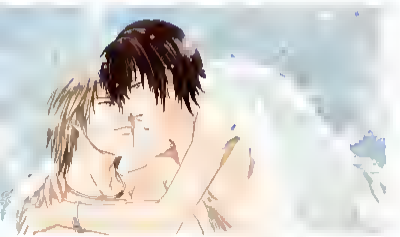
――キャラクターのビジュアル中版定はどのタイミングで生まれるのでしょうか？

「ＹＥＬＬＯＷ」は相棒ものにしようというのだけ打ち合わせをしていて、キャラクターは対照的なのがいいなというところから、ゲイとヘテロにしようと。そこから駆け引きとか一緒に何かやらせたら面白いかなという流れだったので、こちらもキャラクターが先に決まっていた作品ですね。

――そもそも少女マンガとＢＬ作品を平行しはじめた頃の作品ですね。

「願いキライも」が初めてのＢＬ作品で、

少女マンガとBLマンガを平行して発表し続けるバイタリティあふれる立野真琴の秘密とは!?



コミック@BUN 平成16年2月号 カヲ ■ ©マラ出版［予感EX Extra］

次が「YELLOW」ですね。もともと純粋ものが好きなんで少女マンガの時でも何度か描いていたんですが、BLの相棒ものでお話をいただいて、アクションものとか刑事ものでどうですかって話をした時に、謎解きや事件性があるお話にしようと決めたんです。だからBLにしては珍しい事件メインのシリーズになりました。話の作り方は少女マンガとあまり変わらないんですが、トリックや謎解きを考えるのには結構苦労しましたね。ばらしちゃいますけど、実はそういうネタは雑学辞典みたいな本を読んだり、テレビを見ていて「へえ、そうなんだ」と思えるものを見つけて、それをオチにすることを考えて謎解きを自分で作っていくんですよ。オチのネタが先にあって、ひっかけてこれを持ってきてこうやって複線を張ればピンとくるっていうのを逆から考えるパターンですね。

――少女漫画と平行してBL漫画を描き始めたきっかけは、どのようなものだったんですか？

もちろん私自身はBL様様で抵抗はなかったんですけれど、フリーになった時に名前を変えようかどうしようかと迷った部分はありましたね。どうせなら全部別人でもよかった方がいいかなというのがあったので。同じ名前でやることにしましたけど。せっかく描りからは何か言われたり、描られたりするのかなって思ったんですけれど、「へえ」って笑いのようなリアクションのようなそんな反応をされましたね。よく編集さんたちと飲んでいて、いい原稿を描いていたので大目にみて下さったのかもしれませんね（笑）。特に止められることもなく、自由にやらせていただけたのでその点は突き進んでいっています。少女マンガ同様にBL漫画も頑張らせていただいています。

©立野真琴 平成17年2月号 ■ 発行 ■ 発売 ■ 定価

これから先の作品へ

――これからBL漫画で描きたいと思っているテーマはありますか？

吸血鬼ものを描きたいなと思っています。「ニューズの学園に行こう」「青い羊の夢」も連載中なので頑張りたいですね。

――今、進んでいる面白い企画があれば教えて下さい。

BLで実はまだ発表できないんですが私も消耗している企画が一つありまして、こちらは皆さんお知らせできると嬉しいますので楽しみにしていて下さい。

同時進行の極意

――少女漫画とBL漫画を同時期に描いていて混乱することはないんですか？

それは特にないですね。それに私めちゃくちゃ貧乏性なので一度いいんですよ（笑）。ずっと同じ作品を描き続けるよりも、全然違うものを描くことで、どちらにもいい気分転換になっていいんです。漫気は「BL作品同士でしたりしますね（笑）。BL漫画を平行して色々描いている時期があってこんなシーン描いたことがあるって思ったことが結構ありますね。その時に髪型を間違えたことがありましたね。同時期描いている作品で似ている為めのキャラクターがいて、髪の毛の分け目が逆だったという。描き出す前に気が付いたのでよかったんですが、アシスタントの子たちにはちゃんと描き込まないで描られました（笑）。

――アシスタントさんたちも長い方が多いんですか？

長い人は10年以上になりますね。細かい指定をしなくてもおまかせができるので助かっています。でも、見せ場の効果の部分は私自分でやっています。変わった模様のトーンを貼ったりというのは自分の中のイメージを説明するより自分でやったほうがしっくりくるので、バランスを見ながら自分で貼っています。

――トーン貼り効果なんかは、アシスタントさんがやっているものとばかり思っていました。

もちろん大部分は貼ってもらっているんですが、大きなところや自分でやってみないとわからなそうなところは、最出最終目の仕上げの時にアシスタントと一緒に貼っていますね。このへんのやり方は作家さんによって違うと思います。少女漫画は特に華やかな効果が多いので私は自分でやっていることが多いですね。

多忙な日々のなかで

――先生はスケジュール管理はどうなさっているんですか？

遺本的に、すべて自分で管理をしています。今は平均週に2～3本から3本の作品をやっていて、自分の中でここまでにこれを上げてこれをやる、と決めて進めているんですけれど、中には予定が飛び込んでくる時期はありますね。最近、初めて5本というのをやったんですが、その時はさすがに、スケジュール管理をもっときちんとしなくてはいけないなと実感しました。アシスタントさんたちも大変ですしね。本当に彼女たちなしではこなせないと思っています。よく付き合ってくれているなと感謝しています。

――そんなお忙しい先生ですが、お休みはちゃんと取られているんですか？

ひとつの仕事が終わったら1日から2日くらいは休むようにしています。合間に執筆にいって気分転換をすることもありますしね。忙しくて休みが取れないときがあっても、お仕事があるっていうのはありがたいことですから頑張れます。

現在の「描く」環境

――現在執筆されている作品を教えてもらえますか？

少女マンガの方では「ハッピィ☆ボーイズ」が終わって、今は「赤ス探へようこそ」という作品を描いているんですが、こちらも楽しい作品になっているので、最後まで頑張っていただきたいですね。それと季刊で出しているファンブックのアンソロジーの漫画も大詰めのところでこちらもちゃんと描いていきたいと思っています。こちらには「カードの王国」に出てくるキャラクターが出てきているので、貼会があればぜひに取っていただきたいですね。簡単されている方々も楽しんでいただけると嬉しいです。

――漫画を描く時の必需品というのはありますか？

必需品は音楽ですね。ネームの時も描いている時も音楽はずっとかけています。ジャンルはJ-POPから洋楽までなんでも聴くんですが、少女漫画を描く時はJ-POPだったり、BL漫画を描く時はジュアル系を聴くことが多かったりと作品のイメージによって変えているかもしれません。

――愛用の道具というのはありますか？

よく珍しいと言われるんですけれど、一つのものを長く持っていたくないんです。通常でしたら、このペンじゃなくては駄目だっていう作家さんが多いと聞きますけれど、ここでも私の飽き性が出ているのかもしれないですね（笑）。シャープペンも、ペン軸も、3本くらいずつ用意して一つの作品を描きあげるにも、常に持ち替えながら描いていますね。大体1時間くらい経つと取り替えたくなるんです（笑）。もちろん気に入っている道具の中で用意するんですが、何種類か描き心地が変わるものを

を用意しています。自分でもせわしないなと思うんですけれど、そうしないといられないという癖です。ペンが遅くなってくるのが遅っていうのが一番近いかもしれませんね。

――では　お仕事場の環境でこだわっていることはありますか？

雑多なところで描いていますよ！　綺麗なところにはこだわってないですね。一応一人に一つずつ机を用意しているんですが、こたつでもどこでも描けます。そういうところはズボラなのに、なんでペンには神経質なのか自分でもよくわからないんですけれどね（笑）。

投画家「立野真琴」のこれから

――原画を通して読者の方に伝えたいと思っていることはありますか？

もちろん作品によって、今回はここを見て欲しいという部分はあるんですが、マンガを読んで何かしら感じてもらえて、読者の方それぞれの視点で、どういう楽しみ方でも楽しんでもらえればいいなと思っています。風景は綺麗に描えていた時期もあったんですが、今は自分の描っているものが伝わらなくても、読んで面白いなと思っていただければ嬉しいです。

――伝えたかったこと以外の部分で感動がくることはいかがですか？

そういう感覚も　とても嬉しいですね。そこで楽しんでもらえたんだなっていうだけで満足です。だって　こちらから汲み取ってほしいとか、読者の皆さんに求めるなんて出来ないですよ。これだけ世の中に漫画がある中で読んでいただけるだけで本当に贅沢なことだと思っています。深く考えずに読んで楽しんでいただけたら　それだけで嬉しいですね。

――それでは　最後に「ファンの皆さん」へ一言お願いいたします。

基本やってきたものをまとめて見てもらえる機会というのがめてなので、とっても嬉しいです。この画集を載せるための収録作品を選んでいる時には、その時期その時期の思い出が浮かんできて懐かしい気持ちになりました。こうやって年月の積み重ねを本というかたちで皆さんに見てもらえることは本当に幸せです。これからも頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

作家紹介

立野 真琴
Tatsuno Makoto

3月25日生まれ。少女漫画家としてデビュー。の傍　平行して BL作品も数多く精力的に活動するほか幅広い作風に、ファンが多い。　昨年デビュー20周年を迎えますます精力的に作品を発表しつづけている。

代表作品『YELLOW』『ミュート』『中国で逢おう』『不純』　など多数

◆公式ファンクラブやHPはこちら
http://arukiki-egg1.com
※情報は2008年4月現在のものです

立野真琴　漫画原稿が出来るまで

プリンス・サファイア編

モノクロ原稿の製作過程を立野先生の解説つきで公開します！

1

まずはネームを見ながら下描きを入れていきます。コマを割って下描きをするシンプルな作業ですが注目して欲しいのはシャープペンを持ち替えているところです。これが彼の(笑)筆記用具たちです。

今回は最低限の道具を用意したのですが　シャープペンが圧倒的に多いですね。この時は丸ペン　Gペン　筆ペンも2種類使っています。インクは漫画用インクの容器にお気に入りの墨汁液というインクを入れて使用しています。いろいろ試してみた結果たどり着いたお気に入りのインクです。あとは定規と枠線用のロットリング　修正液とウォータープルーフのポスターカラーを使います。こうあらためて見ると　本当にペン多いですねぇ(笑)。最低4本は常に持ちながら使ってます。

当たり前ですが　この時のネームをコマ割りしながら漫画原稿用紙に描す作業は全て自分でやっています。文字を描くのが苦手なので本当は誰かなんですけれど(笑)　ここは頑張っています！

※「墨汁液」イベントと通信販売限定のホプー社から出ている耐水性インク。

2

このあたりで　すでにシャープペンを持ち替えていますね(笑)。先に　描かいところを描いて行くので　0.3ミリのシャープペンが多いですが　人物はできるだけはっきり描くために　このあたりまでくると　0.5ミリになってます。

3

この段階までくると　背景をアシスタントさんにお任せするかんじですね。下描きも同時進行する場合が多いので。

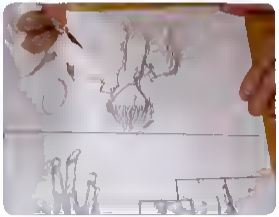
白い手袋はドライバー用の薄いものを使っています。紙との摩擦で手が滑くなるので。その対策です。指先の部分は自分で切ってあけてます！

4

髪の毛から先に　ペン入れをするんですけど　その段階では丸ペンを使っています。小さい人物や細かいところ以外はこのGペンは持ち替えて主線を描いています。細い線や目なんかの細かい作業のときは丸ペンですけど。

5

ペン入れは一気にしてしまうので　この原稿は50ページの描きおろし作品だったんですが　ほぼ3日くらいのペースで終わらせています。



8

ベタも塗り終わって主線も描きおえると　さらに細かい作業の仕上げです。スクリーントーンをへたべたと貼っていきます。この頃には、アシスタントさんたちも一斉に同じ作業をしていますので　みんなでべたべたと(笑)。切って　貼って　押さえて　を繰り返していくんです。トーン貼り作業が大好きなので　細かいところとかは彼の人に指定を出すより　自分でやってしまうんですよ」ほんとに好きな作業なので(笑)。

9

背景と主線と効果が入った時点で　抜き残しや塗りむらがないか最終チェックをします。ひと通りの確認ができたら原稿の完成になります。

完成！

●ちなみに、この作品の各工程にかかった時間は、ネーム1～2日。下書きが3日。ペン入れが3.5日。仕上げが2日でした。だいたいがこのペースですね。

〔スティンガー掲載誌〕
2008年3月14日発売 ディアプラス4月号(新創刊)にて掲載

6

インクが乾いたら。消しゴムをかけてよりいい線やアタリなどを消していきます。このあたりになると　一息入れたいなと思うので　我が家のアイドルにご登場願います(笑)。

この子　消しゴムが好きでかじってしまうんですけど　何故か今使っているエストという消しゴムには興味を示さないんですよ　なので　助かってます(笑)。

7

ベタ塗り作業です。ここでは　筆ペンを使用しています。いろいろ試したんですが、呉竹のペンにたどり着きました。年賀状の時期によく売っているやつですね。ただ　使用頻度が多いので　カートリッジ式のものを使っています。ペン入れが終了すると　仕上げ作業段階では手袋は取ってます。

FSSHH--
WEEP IN THE RAIN
GEEZ...
WHERE'D HE GO?
SPLASH
DRIP

PATTER
PATTER
HEY...
TAKI...
"HEY"...
WHAT?

I WAS AFRAID YOU'D CRY.
I WAS LOOKING FOR A CERTAIN SOMEBODY WHEN IT STARTED POURING THE RAIN.
IT'S A BAD HABIT OF MINE
ARGH, YOU'RE SQUASHING ME!
AND YOU'RE DRENCHED!
SPLASH
WHO?
SAME AS YOURS
THERE'S NOTHING TO CRY ABOUT.
YOU'RE NOT CRYING
I'M NOT LYING
BUT...
FIBBER
STILL DON'T UNDERSTAND MUCH

*Enterbrain is the name of the publisher who published ★'s Lovey Comics.

ご協力ありがとうございました

株式会社オークラ出版 株式会社鎌英社 株式会社秋水社 株式会社新鎌英 株式会社日本文芸社
株式会社白泉社 株式会社双葉社 株式会社ムービック 株式会社ランティス リブレ出版株式会社（敬称略 五十音順）

立野真琴イラスト集

PRINCE SAPPHIRE

プリンス・サファイア

2008年4月5日初版発行

［著者］
立野真琴
©2008 Makoto Tateno

［発行人］
浜村弘一

［編集人］
青柳昌行

［編集］
B's-LOG編集部 comic B's-LOGグループ

［担当］
斉藤由香里

［編集協力］
有限会社きんかん堂
（都）倉貴 金巻綾子）

［装丁］
名和田耕平デザイン事務所
（名和田耕平 横井星子 伊藤綾那 丁鎌加奈子）

［印刷所］
三共グラフィック株式会社

［発行所］
株式会社エンターブレイン
〒102-8431 東京都千代田区二番町6-1
TEL 0570-060-555（代表）

Printed in Japan ISBN978-4-7577-4117-1

本書は著作権法上の保護を受けています。
本書の一部あるいは全部について 株式会社エンターブレインから文書による許諾を得ずに、いかなる方法によっても無断で複写 複製することは禁じられています。定価はカバーに表示してあります。

本書籍における アンケートハガキ 投稿等 お客様からご提供いただいた個人情報につきましては
弊社プライバシーポリシー（http://www.enterbrain.co.jp/）の定めるところにより 厳り扱わせていただきます。

本書の内容 不良交換についてのお問い合わせ
エンターブレイン カスタマーサポート
TEL 0570-060-555（受付時間 土日祝除く 12:00～17:00） メールアドレス support@mlenterbrain.co.jp

Prince Sapphire

Part 6

#sf@irc.irchighway.net

http://countless-fm.t-suu.net

http://countless-time.asablo.jp/blog

PRINCE
SAPPHIRE
PART B
çi@irc.irchighway.net
http://countless-time.tasuu.net
http://ci-forum.mircgate.com

PRINCE
SAPPHIRE
PART A
#sf@irc.irchighway.net
http://countless-time.asu.edu/forum

Countless Time
celebrates our 4th Year
ANNIVERSARY!!
Thank you very much to those that have
supported us over the years.
We hope that you continue to
enjoy our releases.
My grateful thanks to all the Staff
for the time and effort that is put
into all the work they do.
Nothing is possible without you!
Arigatou Gozaimasu!!
#ct@irc.rizon.net
http://countless-time.tosuusnet